

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

（別紙5）

担 当 課：九州地方整備局 道路部 地域道路課  
 担当課長名：西川 勝義

|                          |  |  |  |       |         |
|--------------------------|--|--|--|-------|---------|
| 事業名                      | 一般県道 <small>くわのうらさとこう</small> 桑之浦里港線 <small>ながめはま</small> 長目浜工区  | 事業区分   | 地方道  | 事業主体  | 鹿児島県    |
| 起終点                      | 自：鹿児島県薩摩郡上甕村 <small>さつまぐんかみこしきむら</small> 桑之浦 <small>くわのうら</small><br>至：鹿児島県薩摩郡上甕村 <small>さつまぐんかみこしきむら</small> 中甕 <small>なかこしき</small>  |  |  | 延長    | 6.6 km  |
| 事業概要                     | <p>一般県道桑之浦里港線については、上甕島の上甕村桑之浦集落を起点とし、中甕集落を經由して里村里港に至る延長16.5 kmの幹線道路である。長目浜工区については、上甕村桑之浦集落から中甕集落までの延長6,580 mの区間の道路改良であり、現道は幅員が狭く、見通しの悪い屈曲部が連続しており、車両や歩行者とも交通に支障をきたしている状況である。</p> |  |  |       |         |
| H 6年度事業化                 | H 年度都市計画決定<br>(H 年度変更)   | H 6年度用地着手  | H 7年度工事着手  |       |         |
| 全体事業費                    | 75億円   | 事業進捗率  | 98%  | 供用済延長 | 6.05 km |
| 計画交通量                    | 550台/日   |  |  |       |         |
| 費用対効果<br>分析結果            | B/C<br>(事業全体)<br>1.1<br>(残事業)<br>1.5   | 総費用<br>(残事業)/(事業全体)<br>2/95億円<br>(事業費:2/92億円<br>維持管理費:0.2/3億円) | 総便益<br>(残事業)/(事業全体)<br>4/104億円<br>(走行時間短縮便益:3/77億円<br>走行費用減少便益:1/25億円<br>交通事故減少便益:0/2億円) | 基準年   | 平成15年   |
| 事業の効果等                   | <p>・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）<br/>         ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難箇所を解消する）<br/>         他5項目に該当(定量的評価項目を含む)</p>                                |  |  |       |         |
| 関係する地方公共団体等の意見           | <p>本路線は上甕島の生活、産業を支える幹線道路であり、また、緊急輸送道路であることから、地元は早急な整備を望んでいる。用地取得など事業推進については、用地交渉や用地調査に地元村が同行するなど全面的な協力を得ている。</p>   |  |  |       |         |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等  | <p>交通量（日当り）は386台/日（平成6年度）から526台/日（平成11年度）と増加（1.36倍）しており、道路改良の必要性はますます高まっている。</p>   |  |  |       |         |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等          | <p>一部区間において用地補償に日時を要しているが、平成15年度までに延長6,050 mの改良工事を完了している。</p>  |  |  |       |         |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | <p>未買収用地については、共有地や相続関係人が多数な用地があることなどから、用地調査に期間を要している。未買収用地については、引き続き用地調査を進め早急に用地を取得するとともに改良工事を行い、平成17年度には完成する見込みである。</p>   |  |  |       |         |
| 施設の構造や工法の変更等             | <p>切土量と盛土量のバランスをとることにより、残土発生量を抑え、コスト縮減を図っている。</p>  |  |  |       |         |
| 対応方針                     | 事業継続   |  |  |       |         |
| 対応方針決定の理由                | <p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>   |  |  |       |         |
| 事業概要図                    | <p>次頁に記載</p>   |  |  |       |         |

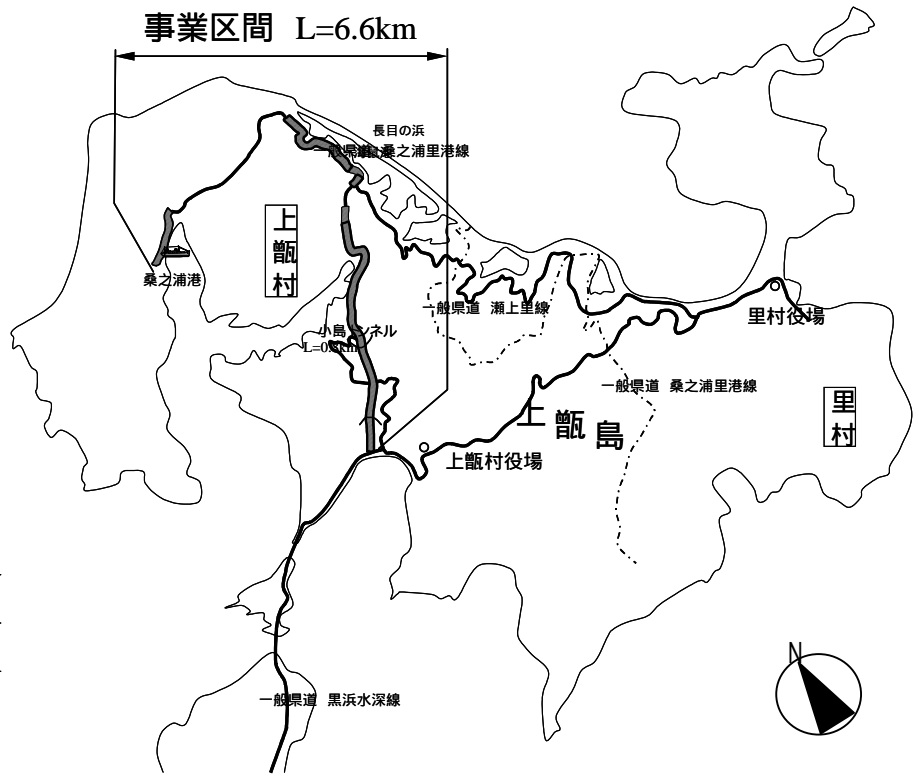
総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図

事業箇所



事業区間 L=6.6km



| 凡 例   |       |
|---|-------|
|  | 供用中   |
|  | 再評価箇所 |
|  | うち供用中 |